

令和5年度普及活動アルバム

諏訪農業農村支援センター

令和5年度は「第4期長野県食と農業農村振興計画」及び「普及活動基本計画（5か年計画）」の初年度として、それぞれの活動のスタートの年となりました。

重点課題は、本年度から3年間「高原野菜産地の総合防除体制の確立」として主力野菜の病害虫の対策活動を始めています。また、地域の共通課題でもある排水対策については、新規就農者の多くが課題を抱えており、解決に向け研修会や検討会を開催するとともに、スキルアップや営農確立の支援を行いました。その他、環境にやさしい農業やスマート農業の推進について、関係機関と連携して取り組みました。



【通年】【重点課題】

「難防除病害虫」への対応

テンサイシストセンチュウとセルリー疫病は、諏訪管内で国内初確認された病害虫です。

テンサイシストセンチュウに対する防除意識を高めるため、病害虫セミナーを開催しました。

一方、セルリー疫病に対しては防除ポイントの絞り込みを行うとともに、農家が自ら防除項目を確認できるチェックシートを作成しました。



【通年】

「湿害対策手引書」を改訂

諏訪管内の主要品目の担い手確保・育成を目標に、支援活動を展開しました。

新規就農者の共通課題である湿害には対策が必須です。現地活動として、地域で導入が始まったカットブレイカーによる物理性改善の実演を行いました。

また、R4年度に作成した「湿害対策手引書」に新たな情報を追加し、HPで公開しました。



【4月】

**「ゼロカーボン」に向けた
果樹せん定枝の炭素貯留**

県で進める「ゼロカーボン戦略」として、果樹せん定枝の炭素貯留を推進しています。

専用の無煙炭化器を使用し「バイオ炭」にする実演会を行いました。

せん定枝をバイオ炭として果樹園に還元することで、大気中への二酸化炭素排出を抑えることができ、地球温暖化対策に貢献できます。



【9月】

**「スマート農業技術活用」
ドローンの活用（は種・防除）**

担い手の高齢化や条件不利地域の農業への対応として現地実証を行いました。

ドローンによる緑肥作物のは種作業は、とても効率的でした。

また、夏季の大豆栽培での農薬散布は重労働ですが、ドローン防除は短時間で省力的でした。この実演により、農家の導入意欲が高まりました。



【1月】

**「農ガールのつどい」
女性農業者のスキルアップ**

県農村生活マイスター協会諏訪支部と JA 信州諏訪女性部が連携して「農ガールのつどい」を企画し、「食と農とSDGs」をテーマに開催しました。

女性農業者を中心に 40 名が参加。ワークショップの中で、基調講演の“フードロス”“子ども食堂”などを参考に意見交換を行いました。